

後晉史圖抄跋

文陵切

凡應馬、馬走人精氣と蓄く鐘伐人楷棠を生
 出たり。考略となりの松や秋野と初義や人食するに
 先とて進するの敬や侍する法と行ふの量やをそと
 しる人々の智や此等事としてくる人の衆多しと
 う有り。我胡仁徳天皇よりすむ御幸ありし代
 の心解明禁野はつり。宇多并河老道遠
 りあり事も止。詔の中定平多岐の御情有れり
 仍其儀式如斯玉祥別と記し給。表氏都乃
 通人志統あるや。毎月二回と書き置入つて